

# 一般国道307号 (市辺<sup>いちのべ</sup>～奈島<sup>なしま</sup>) (城陽市市辺<sup>じょうよう いちのべ</sup>～奈島<sup>なしま</sup>)

一般国道307号は、滋賀県彦根市<sup>ひこね</sup>を起点とし、宇治田原町<sup>うじたわら</sup>、城陽市<sup>じょうよう</sup>、京田辺市<sup>きょうたなべ</sup>を経て、大阪府枚方市<sup>ひらかた</sup>に至る幹線道路で、京奈和自動車道等に連絡し、災害時に重要な役割を担う第2次緊急輸送道路に指定されています。また、現在建設中である新名神高速道路の宇治田原IC(仮称)予定地に位置し、アクセス道路としての重要性が高まっていますが、当該区間は、線形不良箇所が連続し、車両の円滑な走行の支障となっています。

このため本事業は、線形改良を実施することで、高速道路へのアクセス等の向上を図るもので、平成27年度から事業に着手しております。

平成28年度は、用地測量を実施します。

## ◎事業概要

全 体 計 画	H27 までの実績	H28 計画
事業期間：H27～H35 事業延長：1.3km 幅 員：6.5(10.5)m 総事業費：約9億円	事業概要：測量・設計  事業費：0.2億円	事業概要：用地測量  事業費：0.1億円

## ◎事業効果

- 線形改良により、現道の交通難所を解消し、安全で円滑な走行に寄与します。
- 第2次緊急輸送道路としての信頼性が向上します。
- 高速道路へのアクセス向上により、地域産業の振興や交流人口拡大等に寄与します。

### 現道の状況



### 位 置 図

